

第 59 回 定時株主総会 質疑応答（要旨）

Q1. AED の設置場所を地図に表記することは可能か。

- A1. AED の設置場所の多くは室内にあり、当社の調査員が自由に調査できるエリアが非常に限定されているため、現時点では AED のデータ整備はしていない。しかしながら重要なコンテンツと認識しており、継続的な検討が必要だと考えている。設置場所の変化情報の把握、コストの問題等もあるが、移動型と固定型の AED のうち、固定型の部分だけでも表記できるような体制をつくっていきたい。

Q2. グーグルマップとの関係が無くなったと聞いているが、GAFA^(※)等含めて大手との関係がどうなっているのか教えてほしい。

- A2. グーグル社との契約解消という情報は当社からの情報ではなく、また、2 社間の契約上の守秘義務があるため、ここでの回答は差し控える。今後両者の関係が変わったことにより業績に変動が出た場合は、開示義務に則り速やかに公表する。

グーグル社との関係について今申し上げられることは、グーグル社はグローバル方針の下、北米などと同じく、日本においても独自方法で地図更新を打ち出したということのみである。グーグル社に限らず、個別のビジネスの詳細は、守秘義務上、また事業戦略上、開示することはできないが、グーグル社との取引は 10 年以上になり、良好な関係を築いてきた一方で、様々な交渉をしてきたことも事実である。グーグル社の新たな地図のリリースが様々な憶測を呼んだことも事実であり、そのことが当社の株価にどのように影響したかは図りかねるが、当社としてはグーグル社のみならず、各企業に利用価値の高い地図情報を利用いただけるよう、今後とも邁進していく所存である。

※GAFA：米国の大手 IT 企業である、グーグル (Google)、アマゾンドットコム (Amazon.com)、フェイスブック (Facebook)、アップル (Apple) の 4 社のこと。

Q3. 招集通知 16 ページに記載の「流通情報」について、具体的に、現在・将来において価値ある流通情報を、それぞれ 3 つ挙げてほしい。

- A3. 現在、ネット上などで流通している情報には位置情報が含まれていない場合が多い。それらの情報に当社が保有する緯度経度を持った位置情報を付与することで、場所の特定が可能な情報にすることを考えている。価値ある流通情報としては、移動体に関する情報、公開情報である公共・自治体の情報、国が推奨しているスマートシティ構想における大きなプラットフォームの中に存在する価値ある情報。これら 3 つを現在・将来の価値ある流通情報として、位置情報を付与していくという役目が当社グループにあると考えている。今後 5 年～10 年の間に予想される様々な状況変化も見据えながら取り組んでいく。